

進捗実績管理

■ 統計情報

実績把握単位

以下の3つ対応する必要

1. 業務
2. 開発グループ
3. 工程

集計分類単位（メッシュ）

計画、実績差異分析の観点

- ・ 作業項目
- ・ コスト項目
- ・ 品質評価項目

■ 進捗状況確認

進捗報告

- ・ 報告ルールと管理方法を設定しておく
- ・ 報告は定量的に

収集頻度

- ・ 通常、1週間単位
- ・ サブシステムや工程単位などなら1月も可
- ・ 問題発生時の不定期報告制度も重要

遅延対応

- ・ 見積誤差、設計ミス、機器手配ミス、仕様変更、要員の病気などの原因
- ・ 本質的な原因に対して、適切かつ迅速に対応
- ・ 一覧管理表も有効

■ 予算実績管理（予実管理）

予実管理とは

プロジェクトマネージャはプロジェクトを定量的に管理する必要がある。このために、計画値と実績値の差異分析が重要。予算（計画）と実績値の対比による管理のこと

アーンドバリュー（EV）分析

- ・EV(Earned Value) 出来高、達成価値分析
- ・予実管理を定量的に行う手法
- ・プロジェクト計画段階に全ての価値を金額換算し予算化する
- ・時間経過に伴う達成予定を基準値（ベースライン）とし、これに対して実績管理を目指す
- ・予実に差が生じることを考慮しており、時点での予算額をアーンドバリュー（達成価値）として金額表示する

略号 1、略号 2	内容
PV(Planned Value: 計画価値)、BCWS(Budgeted Cost of Work Schedule: 計画予算コスト)	あるじいまでの計画予算。経営者承認済みのベースライン
AC(Actual Cost: 実コスト)、ACWP(Actual Cost of Work Performed: 実際発生コスト)	ある時期までに実際に支出された費用の累計。直接費、間接費含む
EV(Earned Value: 達成価値)、BCWP(Budgeted Cost of Work Performed: 出来高)	ある時期までに着手した作業（完了含む）に割り当てられていた承認済み予算の合計。単純な場合、総予算×進捗率

以上の 3 つの値から、以下を計算することができる

略称	名称	計算式
CV	Cost Variance: コスト差異	$CV=EV-AC$
SV	Schedule Variance: スケジュール差異	$SV=EV-PV$
CPI	Cost Performance Index	$CPI=EV/AC$
SPI	Schedule Performance Index	$SPI=EV/PV$

プロジェクト完了時の予測コストは、承認済みプロジェクトの完成時総予算 (BAC) を実績と効率指数 (CPI、SPI) を用いて修正して求める。

例えば、CPI を用いると次式が完了時予測コスト EAC(Estimate At Completion) をあらわす。

$$EAC=AC+(BAC-EV)/CPI$$

完了報告

プロジェクト完了時に作成する報告書、付属資料は以下のものを含む

- ・総括（プロジェクト目標、体制とスケジュール、プロジェクトの特徴、業務改善事項、目標達成度など）
- ・計画と実績対比（進捗、コスト、生産性、品質、要員管理）
- ・新規業務フロー図
- ・機器構成図、ネットワーク構成図
- ・開発費用、運用経費
- ・最終評価